

長年の苦楽を経て到達した境地にあるもの、それは・・・？  
**100歳以上 ご長寿が考える「人生」の語釈(言葉の意味)を発表！**  
～「小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。2015 キャンペーン」実施中～

株式会社 小学館（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：相賀昌宏）の国語辞典『大辞泉』編集部は、5月18日（月）より実施中の「小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。2015 キャンペーン」の一環として、7月27日（月）に「—100歳以上—ご長寿が考える【人生】の語釈」を発表します。

## ■100歳を越えられたご長寿は「人生」をどう表現するのか・・・？

小学館『大辞泉』編集部では、国内の100歳を越える方々に「あなたにとって『人生』とは何ですか？」という設問で、自身が考える【人生】の語釈（言葉の意味）を取材しました。その結果、37名の方々からいただいた回答を、7月27日（月）より「小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。2015 キャンペーン」の特設サイト内にて掲載します。

4人にひとりが65歳以上という超高齢化社会を迎えた現在の日本。100歳以上の人口も約5万9千人と世界一の長寿大国であり、「もし自分が100歳になったら…」と想像する方も多いと思います。今回の取材結果は、実際に100年という年月を生きてこられたご長寿だからこそ語れる【人生】の意味、そしてご家族との物語が、それぞれの言葉からにじみ出るものとなりました。

「—100歳以上—ご長寿が考える【人生】の語釈」（一部抜粋）

- 中で生きること。上を見ても下を見てもキリがない。  
（高知県 長崎清榮さん 100歳）
- 生きているのではなく、生かされていること。  
（新潟県 江部テイさん 101歳）
- 長いような短いような時間。人を憎むとか嫌うということ消していくもの。  
（千葉県 高橋芳子さん 102歳）
- 人が生まれて死ぬまでの喜怒哀楽の日々。  
（宮崎県 中島ふさえさん 103歳）
- いつも笑顔で健康で、お役にたってさようなら。  
（山形県 高森務さん 106歳）

これらを含むすべての作品は、キャンペーンサイト <http://kotoba.daijisen.jp> トップからリンクされた特別企画ページ「100歳以上 ご長寿が考える【人生】の語釈」にてご覧いただけます。

## ■取材概要

○取材方法：機縁法により抽出したご長寿（100歳以上）の方々に対する取材

○取材期間：2015年4月20日～2015年4月30日 ※記載の年齢は取材時のものです

※本リリースの取材結果をご利用頂く際は、「取材主体：小学館『大辞泉』編集部、取材実施：株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント」とご明記下さい。

＜本件に関するお問合せ先＞  
株式会社小学館 マーケティング局書籍宣伝課 担当：阿部  
TEL：03-3230-5353 FAX：03-3263-1900 e-mail：keisukea@mail.shogakukan.co.jp  
株式会社小学館 出版局デジタルリファレンス『大辞泉』編集部 担当：板倉・大江  
TEL：03-3230-5168 FAX：03-3230-9160 e-mail：daijisen@shogakukan.co.jp

## ■「小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。2015 キャンペーン」について

「小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。キャンペーン」は、2013年と2014年の2回にわたり実施されました。小学館の国語辞典『大辞泉』の編集部が提示した2回計18語に対し、皆さまからオリジナルの「語釈（意味）」を募集。寄せられた計約1万5000件の語釈の中から、編集部が選んだ優秀作・214件を『大辞泉』デジタル版で実際に公開しています。

「変わり続ける言葉を、とらえ続ける辞典」「生きている国語辞典」など、『大辞泉』の特徴を体感できる本キャンペーンは、一般の方が考えた独自の語釈が、実際に「国語辞典」に掲載されるという革新性から、各メディアで大きな話題となりました。昨年3月に終了したフジテレビ系『笑っていいとも!』では、「国語辞典をアップデート 目指せ!言葉の達人」としてコーナー化。『大辞泉』編集長・板倉俊が審査員として毎週出演し、タモリ・関根勤・草彅剛・木下優樹菜・劇団ひとりら各氏の独創的な語釈を講評。一般作品とともに『大辞泉』デジタル版に現在も掲載されています。

また、その反響の大きさは、本キャンペーンが受賞した以下の広告賞の実績にも表れています。

- ① 全日本シーエム放送連盟／2014 54<sup>th</sup> ACC CM FESTIVAL インタラクティブ部門ファイナリスト
- ② 電通／第68回 広告電通賞 新聞広告 情報・通信部門最優秀賞
- ③ 日本新聞協会／新聞広告賞 2014 広告主部門優秀賞
- ④ 日本経済新聞社／第63回 日経広告賞 出版・コンテンツ部門優秀賞
- ⑤ 日本広告業協会／第1回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞ファイナリスト

そして今年、3回目となる「小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。2015 キャンペーン」を、“ことばの日”である5月18日（月）より実施しています。小学館『大辞泉』編集部がセレクトした10の言葉の語釈が、一般の皆さまから毎日多数寄せられています。

募集締切は“辞書の日”である10月16日（金）まで。締切り後、これまで同様、編集部が優秀作品を選定し、iOS版・Android版アプリなど『大辞泉』の各種デジタル版に掲載いたします。また『大辞泉』がデータを提供している、「goo 辞書」「kotobank」「JapanKnowledge」などのネット辞書でも順次、掲載いたします。（※キャンペーン概要の詳細は次ページ）

《2014年のキャンペーンに投稿され『大辞泉』デジタル版に採用・掲載された作品（一部抜粋）》

【結婚】互いの「空気」になること。（はるたぬさん）

【青春】成人が後悔し、中年が懐かしみ、老人が忘れるもの。（TEN-ATさん）

【社長】一番高い所からしか見えない景色がある事を知り、一番高い所からは見えない景色がある事を忘れた者。（トモタロウさん）

【お金】人々の幸せをつくり、人々の争いをつくるもの。（kamiyotaさん）

【涙】生まれた瞬間に流すもの。死んだ瞬間に流されるもの。（かな君さん）

【家族】愛し合っていた妻と、愛しているのに無視する娘と、両想いの犬。（うたまるさん）

【言葉】いつも想いより後から出てくるもの。（なつこさん）

【戦争】歴史に於ける酷い二日酔い。起きた直後は二度と繰り返さないと誓うが、いつか必ず繰り返す。（飲兵衛さん）

【前】まだ自分の足跡がない場所。（ちりちりさん）

【イケメン】女性が無意識に声をワントーン上げて接してしまう男性のこと。  
（首無しキリンさん）

上記を含む過去2回のキャンペーンで採用されたすべての作品は、キャンペーンサイト <http://kotoba.daijisen.jp> のトップにある「過去のキャンペーンはこちら」からリンクされたアーカイブページにてご覧いただけます。

## 【キャンペーン概要】

- 名称：小学館・大辞泉 あなたの言葉を辞書に載せよう。2015 キャンペーン
- 実施概要：キャンペーンサイトや SNS 等で 10 の言葉の語積（意味）を一般より広く募集し、小学館『大辞泉』編集部がひとつの言葉に対して、各 10～20 作品を選定。2016 年 4 月の改訂時に『大辞泉』デジタル版データに収録する。  
goo 辞書、kotobank、JapanKnowledge でも順次、掲載していきます。
- 10 の言葉：①人生 ②仕事 ③心 ④学校 ⑤旅 ⑥アイドル ⑦天才 ⑧馬鹿  
⑨スマホ ⑩ヤバイ
- 期間：投稿募集期間＝2015 年 5 月 18 日（月）～10 月 16 日（金）  
キャンペーンサイト公開期間＝ 2015 年 5 月 18 日（月）～2016 年 5 月 17 日（火）  
1 年間を予定 ※サーバーの都合により延長の可能性あり
- 応募方法：①キャンペーンサイト投稿フォーム（Twitter、Facebook から投稿可能）  
②ハガキ
- 応募先：①キャンペーンサイト投稿フォームの場合  
キャンペーンサイト <http://kotoba.daijisen.jp>  
②ハガキの場合  
〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1  
小学館「大辞泉」編集部宛
- 賞品：全応募者から抽選で 5 名様に「iPad mini 2（16GB）」をプレゼント  
※期間内にモデルチェンジがある場合、仕様などが変わる可能性があります。  
※色は選べません。  
※iPad mini 2 は、本体のみのプレゼントとなります。インターネット回線の接続には、別途ご契約が必要となります。  
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



キャンペーンサイト・トップ画面 ※スマートフォンからも投稿できます

## ■『大辞泉』はネット&デジタル時代にマッチした“生きている国語辞典”



新しい言葉の採録に積極的に取り組んでいる“生きている国語辞典”『大辞泉』のデジタル版データは、最新採録語数・約 28 万語（2015 年 7 月現在）に達し、ネット辞書のなかでもナンバーワン。さらに毎年 3 回、毎回 2,000 語前後の新語・新語釈を定期更新しています。

その先進性が評価され、kotobank、goo 辞書など国内主要ポータルサイトの辞書データとして採用されているほか、主要な電子辞書にも搭載されています。デジタル時代にマッチした国語辞典として、今後も日々生まれゆく新しい言葉や語彙をキャッチし、立項・アップデートしていきます。

### ※『大辞泉』公式ウェブサイトでも情報発信しています！



“生きている国語辞典”『大辞泉』の知られざる特長、幅広い展開事例、関連する著名人のメッセージ、関連最新ニュースなどをご覧いただけます。『舟を編む』の作家・三浦しをんさんの特別メッセージも読めます！

<http://www.daijisen.jp>

### ※『大辞泉』公式フェイスブックページで「ことば」の解説を毎日投稿しています！



『大辞泉』公式 Facebook ページでは、さまざまな「ことば」について、その語源や使用法など「面白くてためになる」情報を編集部が掘り下げて、毎日投稿しています。時事ネタに由来する言葉や新語・流行語など、思わず誰かに「シェア」したくなる話題が満載です。

<https://www.facebook.com/Daijisen>

<http://www.daijisen.jp> または 大辞泉 で検索！ \_